

都議会レポート

【発行元】 都民ファーストの会 東京都議団 白戸太朗事務所
〒135-0042 江東区木場5-3-8 内藤ビル301 TEL.03-5809-8150 FAX.03-5620-0610

2021年7月～
2022年2月活動
2022
春号

東京都議会議員（江東区選出）

白戸太朗 しらと たらう



白戸太朗
公式ホームページ

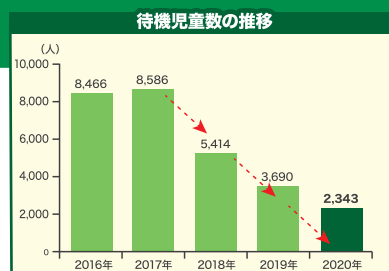


白戸太朗プロフィール ■1966年京都府生まれ／同志社香里高校卒／中央大学商学部卒／日本体育大学体育学部卒／日本体育大学大学院修了／2017年から東京都議会議員。2021年7月より文教委員会委員長として2期目をスタート ■都民ファーストの会東京都議団／都議会文教委員会委員長／オリンピック・パラリンピック特別委員会理事／東京都スポーツ振興審議会委員／卸売市場審議会委員

都政で進めています！（裏面もご覧ください）→

子育て支援

こども基本条例やコロナ禍の影響等を踏まえ、改めて子供の目線を大切に、いかなる状況においても、全ての子供が健やかに成長できるよう、社会全体で子供に寄り添うことが大切です。



これまで実現してきた主な子育て支援策

待機児童73%減少

2017年8,586人から
2020年2,343人へ

0歳～2歳児の保育料支援

2人目は半額、
3人目以降は無償化

不妊治療助成の対象拡大

令和3年1月1日以降に終了した治療から所得制限なし
1子ごとに6回まで(40歳以上43歳未満は3回まで)に

妊婦の方が健診などで
タクシー移動に
使えるチケット配布

私立学校の学費負担軽減

世帯年収760万円から
910万円へ対象引き上げ

都営地下鉄における子育て応援車両の導入

2019年より大江戸線で導入
22年からは全線へ拡大予定

令和4年度 子育て支援対策

とうきょう子育て応援パートナー事業

妊娠前から就学前にかけて子供と家庭に寄り添い、あらゆる支援をコーディネートする人材を育成し、安心して子育てができる環境を整備



東京ユースクリニック推進事業

中高生等の思春期特有の健康上の悩みや妊娠を考える男女のプレコンセプションケアなどに対応できるよう、相談の実施方法や医療機関との連携、受診支援に向けた取り組み



高校生の医療費助成

子育て支援の充実のため、高校生相当年齢への医療費助成制度の開始に向けた区市町村等の準備経費を補助



デジタルサポーター(ICT支援員)の全校配置

都立学校におけるひとり1台端末体制の構築に合わせて、教員をサポートするデジタルサポーターを引き続き各校1人(全校)配置



高校生における1人1台端末整備に係る保護者負担軽減

令和4年度の新入生から1人1台端末を補助



私立高校端末整備補助

私立高等学校等のひとり一台端末整備を促進するため、端末整備や保護者の端末購入費用への負担軽減に取り組む学校に対して経費を補助



受験生チャレンジ支援貸付事業

学習塾費用、受験費用などを貸し付け、合格した際は返済免除となる支援事業。収入要件を緩和し、対象を拡大し多くの子供を支援



コロナ対策

感染拡大下でも都民の命と健康を確実に守ることができる医療提供体制の確保に加え、ワクチン接種の推進や検査体制の充実など、新型コロナウイルス感染症の予防・早期発見の徹底が重要です。

これまで実現してきた主な新型コロナ対策

感染拡大防止協力金

国や全国の自治体に先駆けて実施

家賃支援給付金

国の家賃支援に都独自の3か月分の上乗せ給付

中小企業資金繰り支援

新型コロナ対応分として制度融資目標額4兆円を確保

検査体制の強化

とくに高齢者や障がい者支援施設等を対象としたPCR検査

都立病院のコロナ対応病床の強化

都立広尾病院等で重点的に受け入れ

医療従事者への支援

慰労金の支給や特殊勤務手当、宿泊先確保支援等

後遺症に関する相談窓口を

都立病院や公社病院に開設(3月中予定)

後遺症の知見を蓄積して治療に生かす

町会や自治会に対して

「地域の底力発展事業」を活用した感染防止対策

メニューの提供

令和4年度 コロナ関連対策



PCR等検査無償化事業

陽性者の早期発見・早期治療につなげるため、感染拡大傾向が見られる場合に、感染不安を感じている方などに対する検査を無料化

医療提供体制緊急整備事業

医療機関が新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れられる体制を確保するため、空床確保料の補助や、医療従事者に対する特殊勤務手当の支給に係る経費の補助などを実施



自宅療養支援

保健所等との連携体制を確保し、新型コロナウイルス感染症患者の自宅療養者に対する適切かつ効率的な健康観察と生活面での支援を実施するとともに、自宅療養者が安心して療養生活を送れる体制を構築

宿泊施設活用

ホテル等の宿泊施設を活用し、軽症等の新型コロナウイルス感染症患者に対して健康管理や酸素投与、中和抗体薬治療等を実施するための療養環境を確保



保健所支援対策強化

東京都保健所支援拠点における会計年度任用職員の活用や保健所業務の一部の外注委託化などにより、保健所業務の負担軽減を図る

ワクチン接種会場事業支援

ワクチン接種を希望する方への接種を迅速に行うため、都が主体となって都内複数箇所に大規模接種会場を設置し、ワクチンの接種促進へ



白戸太朗の視点！

感染拡大防止策と社会活動の両立へ！

コロナ禍が長引く中で、拡大防止はもちろんですが、同時にどのように社会活動を行っていくのか。こうした視点での対応も大切です。

ゼロエミッション東京の実現

次世代へ、美しい地球、住みやすい東京を引き継いで行くために。今、行動することが必要です。

ゼロエミッション東京の実現に向けた施策展開

- ・2050年「ゼロエミッション東京」の実現のために、都内温室効果ガス排出量を2030年までに50%削減(2000年比)することを目指し、脱炭素化の取組を加速
- ・2030年カーボンハーフ達成に向けて、あらゆる分野において、更なる省エネ・再エネ利用等を強力に推進する施策の実現が必須

水素モビリティ・自動車の脱炭素化を拡大

FCバス・水素STを倍以上に誘導



建築物のゼロエミッション化を大胆に推進

2050年の省エネ建築物を形づくる

再生可能エネルギーを基幹エネルギーに

太陽光発電の設置を当たり前に



プラスチック対策等の資源循環利用を促進

官民挙げたプラスチック対策を推進

事業復活支援金

コロナの影響を受けた、中小企業、個人事業者の事業継続、回復を支援するものです。

コロナ禍以前と比較して売り上げが規定以上下がっている事業者が給付対象です。

申請期間は5月31日まで。

詳しくはこちら▶





都政ですめています！

ウクライナ侵攻対応

都としての考え方

軍事侵略を断固として許さない姿勢を表明、都庁等のライトアップで連帯を示す

具体的な支援策

ウクライナからの難民の皆様へ都営住宅提供

影響を受けている中小企業支援

資金繰りを支える制度融資
原油価格高騰等対策支援
農業者、水産業者、航路への支援

都民生活を守る

就職特別相談窓口、緊急生活相談窓口の開設で、就業や生活の具体的支援。

自転車イベントの創出

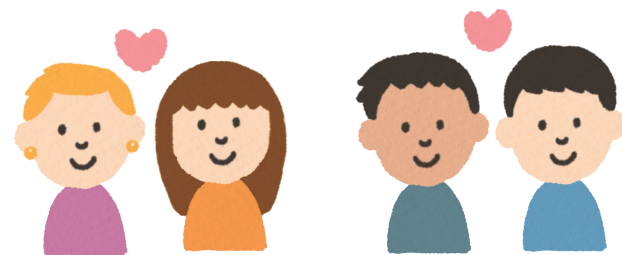
2020大会のレガシーとして、地域が一体となった誰もが楽しめる自転車ライドイベント実施へ！

環境問題、渋滞対策、健康対策という様々な視点から今後ますます重要とされている自転車活用。都として「自転車通行空間の拡張」など走る場所の整備、「走る機会」も作っていきます。この施策を強く進めてきた白戸太郎として、臨海部での開催を実現すべく進めています。



同性パートナーシップ制度の導入

誰もが住みやすい東京へ！
性嗜好の在り方は多様であり、個人の大切な権利。どんな方も住みやすい環境整備のために、都として承認。また都民はもちろん、在学在勤者も対象にし、すべてオンライン受付けで申請受理できるように。そんな多様な性に関する都民の理解も促進していく。誰もが生き生きと生活が出来るダイバーシティ都市・東京を実現へ。



便利で快適な東京の実現

地下鉄8号線延伸へ！

いよいよ有楽町延伸（豊洲～住吉間）が進みだしました。来年度から調査が始まります。完成後には江東区内の利便性が大きく改善されます。他では品川地下鉄や多摩モノレールの延伸も進みます。

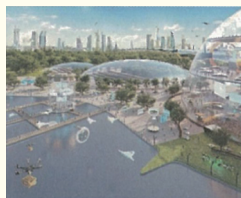


東京ベイeSG プロジェクト

臨海部に新モデル都市を

デジタル技術を活用「スマート東京戦略」の中心エリア

持続可能性と経済性を両立した世界の大都市モデルを実現するため、グリーンTech企業等によるテクノロジーの巨大実走エリアを創出。



特別支援教育推進

子どもの個性や可能性を伸ばす教育の推進。医療的ケアの充実や教育環境を整備。

- 特別支援学校における医療的ケア時の保護者付き添い期間短縮
- 医療的ケア児施用通学車両の運行体制強化
- 看護師の安定的な確保
- 特別支援学校におけるスクールバスの配備等



中小企業支援

ファンドによる脱炭素ベンチャー支援

ファンド出資を通じ、脱炭素に向けたベンチャー支援環境整備推進。



事業推進のための設備投資支援

発展に向けた競争力の強化やDX化、イノベーション推進のための導入経費支援。



デジタルツール導入推進支援事業

デジタルツール導入にかかわる経費の一部を助成。事業活動のデジタル化の推進、継続的な成長を目指す。



サイバーセキュリティ対策継続支援

セキュリティ人材の育成や実務的な課題解決を支援し、継続的な対策を強化。



無電柱化促進

都市防災の強化、安全な歩行空間確保、良好な都市景観のために、都道、市区町村道はもちろん、宅地開発、木密地域などの私道でも促進していく。



都議会議員 白戸太郎が行く！

既存施設を生かしたスケートボード場へ！ ～有明レガシーパーク～
東京五輪で盛り上がりを見せた有明に、既存設備を利用しパークが整備されることが決まりました。五輪のレガシーと、新しいスポーツの発展に寄与する施設にしていくべく進めていきます。と同時に、スケートボードの公道や私有地の走行により社会問題化しているのも事実です。都として競技団体や業界と一緒に、啓蒙活動に取組むべく活動を進めています。



子どもを元気に！

子どもを笑顔にするプロジェクト

都内の全公立私立小中高等学校特別支援学校対象に、スポーツ観戦、芸術鑑賞や野外でのリアルな体験の機会を確保。



子どもの外遊び運動推進事業

遊び方や気をつけるべきルール等の動画を作成・発信



バリアフリー化の推進

オリパラ大会で推進された、街のバリアフリーを加速させる。

誰もが使いやすい駅づくり

エレベーター設置、ホームドアの整備促進、アプリでの誘導などユニバーサルデザインの駅づくりを促進



都道のバリアフリー化

誰にとっても安全な歩行空間の確保。段差解消、勾配改善誘導ブロック整備など



公共トイレへの介助用大型ベットの設置推進事業

介助用ベットの計画的な設置と情報発信を支援しトイレのバリアフリー化を促進。

ご意見、ご要望をお聞かせください。

都民ファーストの会東京都議団

白戸太郎 事務所

〒135-0042 東京都江東区木場5-3-8内藤ビル301

TEL.03-5809-8150 FAX.03-5620-0610



<http://www.shiratotaro.com>
info@shiratotaro.com